

全国入賞作品紹介

🏆 優秀賞・読売新聞社賞



「私の制服をもっと知りたい
好きになりたい
～何十年も続く 制服の理由～」
永明中学校1年 竹内 優奈さん

中学生になって袖を通した制服。実はちょっと気に入らないところもあるけれど、歴史ある制服をちゃんと理解して好きになりたい。と、自分なりに制服が長く続くわけを予想し、制服やセーラー服にまつわるたくさんの資料を読み、見学を通して理解を深めています。

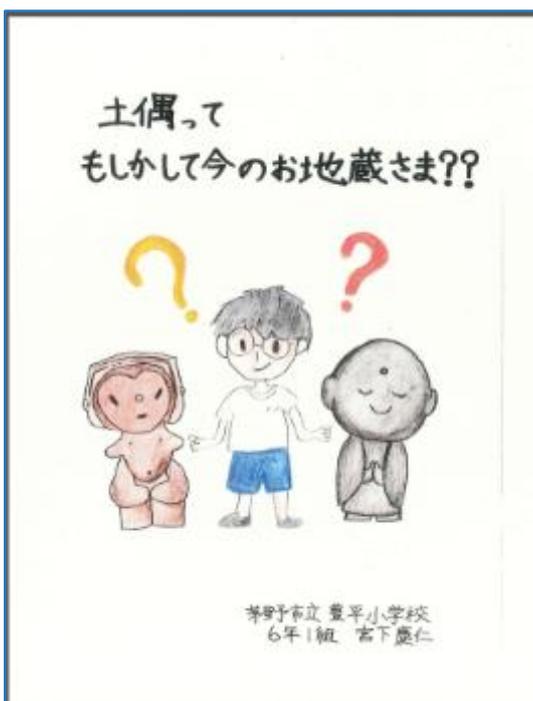
そのうえで、着る人・販売する人・先生方等、多様な立場の方々の想いに触れながら、制服を通じて何を大切にしたいと考えたのか伝わってくる、素敵なお作品です。

画像提供：公益財団法人図書館振興財団

全国入選作品紹介

🏆 優良賞

「土偶って
もしかして今のお地蔵さま??」
豊平小学校6年 宮下 慶仁さん



昇降口で、二体の国宝のレプリカが迎えてくれる学校に通う慶仁さん。1 万年以上たった今も愛される土偶は今でいうと?と疑問を持ちました。

自分と母の予想が違うこともあり、土偶を深く知ることからスタート。予想を確かめる資料を探し、いろいろな場所で取材を重ねながら様々な考え方があることを知った慶仁さんが、答えは出ずとも自分なりに考察し縄文への想いを深めた温かい作品です。

🏆 奨励賞

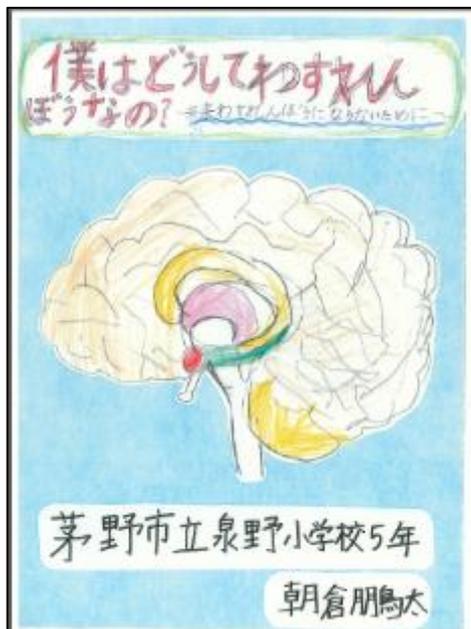


「武将は 歯みがきしていたの？」

永明小学校 3年 楠 旺真さん

真田幸村が大好きな旺真さん。自分のふだんの生活の中で、ふと「戦国武将はどうしていたのかな？」と気づく感性がステキですね。

ひとつひとつの疑問にしっかりと予想を立てて、百科事典だけでなくいろいろな本を使って調べています。そこで生まれた疑問も本で確かめ、もっと知りたいことは博物館へ。歯みがきの歴史をたどりながら自分の考えを整理して、分かりやすくまとめました。



「僕は どうして わすれんぼうなの？」

～未来わすれんぼうにならないために～

泉野小学校 5年 朝倉 鵬太さん

先生の一言を素直に受け止めて、「どうして忘れ物しちゃうのかな？」と自分の「はてな？」につなげているところが、とっても素敵です。

自分自身の経験を元に疑問を整理し、しっかりと予想を立てて資料を読み確かめています。さらに資料からわかったことを自分自身の生活の中で確かめて、自分なりの解決策を考え大成功！イラストや図を使って、分かりやすくまとめられた素敵な作品です。



「海のない茅野市で

なぜ寒天が特産物になったのか？」

～守りたい茅野市の寒天～

米沢小学校 6年 松木 葉奈さん

おやつや給食でとても身近な寒天。海のない茅野市と海藻との関係を調べているうちに気候変動との関係が見えてきて、疑問が深まっていった素敵な作品です。

茅野で寒天が作られるようになったわけを、たくさんの資料を読み比べ、博物館や寒天蔵を見学して調べて、寒天の生産に目を向けた葉奈さん。組合長さんへの取材を経て、特産物を守りたい気持ちが高まってきたことが伝わってきます。

金鶏の 謎を追え！

～僕のふるさと金沢地区～



茅野市立金沢小学校

6年 名取篤希

「金鶏の謎を追え！

～僕のふるさと金沢地区～」

金沢小学校 6年 名取 篤希さん

家の近くの地名や学校だより、行事にも使われる「金鶏」。身近で当たり前に使ってきた言葉の意味に疑問を持ち、本や聞き取り調査等、多様な方法で調べています。

文献資料を探すのに苦労しましたが、33年前に発行された地域の歴史の本から資料を読み取り、地域の方への取材を通して「金鶏」の歴史や地域の人々の想いに触れることができました。ふるさとへの想いを新たに、学びを深めた素敵な作品です。

リサイクルできないゴミの行き先
『最終処分場』ってどんなところ？



金沢小学校 6年 伊東 快晟

「リサイクルできないゴミの行き先

『最終処分場』ってどんなところ？」

金沢小学校 6年 伊東 快晟さん

5年生のときに、コーヒーかすから生まれたコップを知り、「リサイクル」について調べた快晟さん。その際に知った「リサイクルできないゴミ」。いろいろな場面で「リサイクル」が推奨されているけれど、どうしてもリサイクルできないゴミの行先が気になり、詳しく調べました。

本で調べたことだけでなく、取材を重ね、地球温暖化とゴミの関係にも目を向けてまとめた素敵な作品です。

どうして、茅野市の花は
りんどうなの？
～茅野市、りんどうと共に～



「どうして、茅野市の花はりんどうなの？

～茅野市、りんどうと共に～」

永明中学校 1年 濱 彩乃さん

茅野市の花なのに、キャラクターや写真でしか見たことがない「りんどう」。そこに疑問を感じた彩乃さん。

茅野市と「りんどう」の関係を調べながら、本物の「りんどう」に出会うことができました。

そして、なぜ今「りんどう」が咲く姿を見ることが減ってしまったのか。「りんどう」を調べることで茅野市を深く知ることに繋がった温かい作品です。